### Webビューの作成方法

Web ビューとは、IPアドレスが存在しているページ(htmlファイル)を 表示する機能です。

Web ビューの作成をする場合、以下の手順で行ってください。

\*Webページの設定 / 変更。

\*指定した条件による、Webページの切替。(条件により指定の IP アドレスへ移動する)

< 例: Web ページ >



手順1.アドレスの設定 (Webページのアドレス設定/変更)

手順2.移動条件の設定 (指定条件による、"アドレスの移動")

Web ビューの作成手順

B

1.Web ビューを作成するには、「Web ビュー」のアプリケーションを立ち上げます。 デスクトップにある、Bravoのフォルダをダブルクリックし、



「Web ビュー」: アプリケーションの立ち上げ完了。



#### 1.アドレスの設定 (Webページのアドレス設定 / 変更)

1.Webページのアドレスを設定します。

ウィンドウが表示されます。

"ホーム:"に、切替先 Web ページのアドレスを入力します。

"移動条件"は、 <sup>●</sup> 条件によるアドレスの移動は無効</sub>を選択し、 **● ○** をクリックします。 ● (実行)すると、指定のアドレスが割付られている Web ページへ切替ります。

アドレスの設定 ★=/-: Wolfwww.eite.co.iol	X	1.アドレスを入力します。
移動条件		
○条件により指定アドレスに移動	173	2. 💽 をクリックします。
条件	7512	
条件:	] 追加 変更	
7502:		
○条件の内容(URLテキスト)に利	B動する	
条件:		
移動更新問語: 1. 1. 秒		
	OK キャンセル	

# 2.移動条件の設定 (指定条件による、"アドレスの移動")

編集(E) メニューの「アドレス設定」をクリックします。アドレス設定の

#### ウィンドウが表示されます。

● 条件にい指定アドレスに移動する をクリックします。"条件"、"アドレス"の設定をします。
 ● ぐ をクリックし、 ● (実行)します。条件成立時、指定アドレス先へ
 切替ります。また、条件不成立時は、"ホーム"で設定されている
 アドレス先へ切替ります。

ここでは、" 条件 ": #0.b==1 (Bravo 内部デバイス ) が成立時、" アドレス ": http://www.g-ita.co.jp/nd の Web ページに、移動するように設定します。

ビューの、「Web ページ切替」スイッチで切替ます。

アドレスの設定	
水ーム: http://www.g-ita.co.jp/	
移動条件 ○条件によるアドレスの移動は無効 ○ 名 (m/c) (m/m/m/m/m/m/m/m/m/m/m/m/m/m/m/m/m/m/m/	設定された内容が表示さ
・ 余件により指定 アドレスに移動する   条件 アドレス	れます。
#0.b == 1 http://www.g-ta.co.jp/nd	
条件: #0.b == 1 遍加	1 . 条件を入力します。
アドレス: http://www.g-ita.co.jp/nd 1 ↓ 削算	
○条件の内容(URLテキスト)に移動する	2.アドレスを入力します。
***** () わ	
OK         ギャンセル	

"IP アドレス"を取得している、カメラ・パソコンへの切替も可能です。

# 接続方法

シーケンサ:パソコン、1:1の接続
 (シーケンサとパソコン間:シリアル接続、Ether接続\*「Bravoで作画する」参照

<シリアル接続>



< E t h e r 接続 >



### 2.シーケンサ:パソコン、1:nの接続

(シーケンサとパソコン間:シリアル接続、Ether接続) \*本編参照

<Ethernet>



#### <Internet>



1.Bravo 稼動中パソコンが1台の場合(シーケンサ:パソコン、1:1)



2. Bravo 稼動中パソコンが、Internet (WAN) 経由、または Ethernet (LAN) 経由で、複数通信して いる場合(シーケンサ:パソコン、1:n)

#### a.Bravo稼動中パソコンが、データの共有化を図る方法 [推奨]

"A パソコン"の「デバイスサーバ」とシーケンサが通信している場合、"A パソコン"のホームディレクトリにある、 イベントの"設定ファイル(条件)A"と"データA"は、「イベントサーバ」を実行することにより、Internet 経由 (または Ethernet 経由)で、"Bパソコン"の"イベントビュー"に取り込み、モニタリングすることができます。 この方法は、恒にパソコンの"データA"をみることとなり、"Aパソコン"と"Bパソコン"のデータ内容は 一致します。従って、データの共有化がはかれます。さらに、Bパソコンが常時稼動していない場合でも、 "Bパソコン"立上時に"Aパソコン"の"データA"を読み取るため、非稼動時のデータをすいあげることが可能 です。" B パソコン " の「イベントビュー」では、" リモートモードの設定 " で、シーケンサと通信している "Aパソコン"の"IPアドレス"と"設定ファイル"の指定をします。



#### b. Bravo 稼動中パソコンが、各々データを取得する方法

"A パソコン " の「デバイスサーバ」とシーケンサが通信している場合、" B パソコン " の「イベントビュー」が Internet 経由 ( または Ethernet 経由 ) で、" A パソコン " の「デバイスサーバ」と通信し、" B パソコン " のホームディレクトリ にデータを蓄積します。

この方法は、常時デバイスを監視する必要があります。従ってデータ取得のタイミングがずれることがあり、"データA "と"データB "の内容は必ずしも一致しません。



### イベントビュー/データロガービューのリモートモード接続方法

イベントビュー、リモートモード接続方法。(データロガービューも同様の手順です。)
\*設定前に、接続先 Bravo の"イベントサーバ"(データロギングサーバ)の実行を確認してください\*
1.「イベントビュー」のアプリケーションを立ち上げます。

- 2.「イベントビュー」の<sup>ファイル(E)</sup>をクリックし、<sup>リモートモードへ移行団</sup>をクリックすると、
  - リモートモードへ切替ります。キャプションテキストが、 <sup>図 Brayo</sup> イベント Dモート] に変わります。

77	マイル(E)	
2	間く Ctrl+O(2) ログファイルを開く(1)	
	実行(R) 式とデバイスのチェック(E)	
	1_DキワロがラムキーギBravo」デモ画面3 2_Bravo」デモ画面3 3_Dキリロがラムキmizuno¥SCF¥SCF	
	4 D¥Bravo_demo_EV § Bravo_demo_EV	ここをクリックします。
	リモートモードへ移行(位)	
	デザイン(D) アブリケーションの終了(S)	

3. リモートモードの接続先の指定・設定ファイルの選択をします。

再度、 ファイル(L) をクリックし <sup>接続の設定(L)</sup> をクリックすると、"接続先の設定" ダイアログボックスが開きます。ここで、接続先のアドレス(IPアドレス)を入力します。 OK をクリックし決定すると、次に、"リモート接続の設定" ダイアログボックスが 開きます。ここでは、接続先のホームディレクトリにある、イベント設定ファイルが表示されて います。読み込む設定ファイルを選択し、更新間隔も秒単位で入力すると、 OK を

ク	IJ	ッ	ク	し、	決定	しま	す	
---	----	---	---	----	----	----	---	--



"接続先の設定"ダイアログボックス

アドレス(IP アドレス)
す。一度入力されている
、 🔽 をクリックすると
す。



"リモート接続の設定" ダイアログボックス

リモート接続の	)設定			" 接続先のアドレス " で入力した
				アドレスが表示されています。
接続先				また、ここでも「接続先」を
設定ファイル:				クリックすると、アドレスの入
				力・変更ができます。
			_//	
更新間隔:	10 秒			接続先のホームディレクトリにあ
				る、" 設定ファイル " が表示されま
		OK キャンセル		す。

- 4.イベントビューを"実行"します。
- 5.リモートモードを解除する場合は、再度、ファイル(E) をクリックし <sup>標準モードへ移行(M)</sup>を

クリックします。

ѓ́́́́́́́́́́́́́́́́́́́́́́́́́́́́́́́́́́́	
実行(R) 最新の情報に更新(1)	
接続の設定(C)	
標準モードへ移行( <u>M</u> )	ここをクリックします。
アプリケーションの終了公	

### ビュー 拡張オブジェクトの作成

拡張オブジェクトとは、"イベントビュー"、"データロギングビュー"、"Web ビュー"を ビューデザイナーに取り込み、ビュー画面で表示する機能です。

拡張オブジェクトの作成をする場合.以下の手順で行ってください。

Srave demo VWD3 - Brave E1 (ルD) ページ(*) 表示(*) へいざ(#) Run   <mark>2 ページ ♥</mark>		
イベント日時 イベント 状態 発生日時 復帰日町 (1975) 《三行》 (西始》) 8 71458	遠隔監視ソリューション	
ッ 100 100	Not Fruitretion. スト・イーンフレイント に 植レベル	2
	12:43:15 0 0	
<sup>→</sup> <sup>60</sup> <sup>→</sup> <sup>60</sup>	12:43:20 0 0	_
3 N N	12:43:25 D 0	-
	12:43:30 0 0	Ξ
→ 20_ → 20_ 2020_ → 20_	12:43:30 0 0 12:43:35 0 0	
→ 20_ → 20_ # -202020_	12:43:30 0 0 12:43:35 0 0 12:43:40 0 0	
→ 20_ → 20_ # -2020_ -60 -60	12:43:30 0 0 12:43:35 0 0 12:43:40 0 0 12:43:45 0 0 12:43:45 0 0	
20_ 20_ 20_ 20_ 20_ 20_ 20_ 20_ 20_ 20_	12:43:30     0     0       12:43:35     0     0       12:43:40     0     0       12:43:45     0     0       12:43:50     0     0       12:43:50     0     0	
→ 20_ → 20_ 20_ → 20_ 2020_ -6060_ -100100_	12:43:30     0     0       12:43:35     0     0       12:43:40     0     0       12:43:45     0     0       12:43:50     0     0       12:43:55     0     0       12:44:00     0     0	
$ \begin{array}{c} \overrightarrow{3} & 20 \\ \overrightarrow{3} & 20 \\ -20 \\ -20 \\ -60 \\ -100 \\ -100 \\ 12^{2}42^{2}:05 \\ 12^{2}42^{2}:55 \\ 12^{2}43^{2}:45 \\ \end{array} $	12:43:30     0     0       12:43:35     0     0       12:43:40     0     0       12:43:45     0     0       12:43:50     0     0       12:43:55     0     0       12:44:00     0     0	
No     20_     20_       1     20_     20_       -20_     -20_       -20_     -20_       -60_     -60_       -100_     -100_       12:42:05     12:42:55       12:42:55     12:43:45	12:43:30       0       0         12:43:35       0       0         12:43:40       0       0         12:43:45       0       0         12:43:50       0       0         12:43:55       0       0         12:44:00       0       0	

手順1.新規ページの作成。(ビューデザイナーを使用します)

手順2.拡張オブジェクトの作成。(ビューデザイナーを使用して1ページ作成します) a.イベントビューを貼り付けます

b.データロギングビュー:トレンドグラフを貼り付けます

: データシートを貼り付けます

c.Webビューを貼り付けます

- 手順3.拡張オブジェクトの表示。(手順2をすることによりビュー画面にイベント ビュー・データロギングビュー・Web ビューが表示されます)
  - \*「Bravo で作画する」の"モニタリング画面を作成する方法"で作成したファイルを元に 拡張オプジェクト"を作成します。

#### 1.新規ページの作成。(ビューデザイナー)

ビューデザイナーを起動し、作成したファイルを開きます。 ビューデザイナーでは、複数のページを作成することができ、 ページ切替(スイッチ操作、キー操作の設定)により、表示できます。 新規ページの作成をするには、 ページ(の) をクリックし、「新規ページ」をクリックします。 ここでは、すでに、「Bravoで作画する」の"モニタリング画面を作成する方法"で、1ページ目に "モニタリング画面"を作成していますので、2ページに"拡張オブジェクトを貼り付けた画面"を作成 します。



🛃 Bravo_demo_VWD	8 - Bravo El-	デザイナ	
ファイル(1) 編集(1) べ	ニージ(ピ) オブジェク	② ツール(① テスト(① 表示(① ヘルナ(1)	
D 🔊 🖬 🐰 🖻	BX 60	⇒ → D & B + + O & 7	◊ / 10 \$ 00
	· MS PE	月12Pt ・ 小 書 L   ト 単	周雨飛品 四計馬
~		× 100,	
Bravo_demo_VWD3			<u> </u>
■-□ 1:ページ □ 2:ページ			
=70/174		x 8]	
ページ			
パージ名称	ページ	-	
ページ背景色			
		-g	
		No.	
			<u> </u>

#### 2. 拡張オブジェクトの作成。(ビューデザイナー)

1.「拡張オブジェクト」、モジュールの選択。

オブジェクト②をクリックし、「拡張オブジェクト」で、作成するモジュールを選択し、 画面にモジュールの表示位置・表示サイズを作成します。

ここでは、"1.イベントビュー"、データロギングビューの"2.トレンドグラフ" "3.データシート""4.Webビュー"の4個のモジュールを、それぞれ、次の手順で 作成します。





2.「プロパティ」の設定。

表示枠を作成したら、それぞれの「プロパティ」の設定をします。 設定するモジュールを"選択モード"で選択すると、画面左下に、そのモジュールの 「プロパティ」が表示されます。

🖼 Bravo_demo_	VWD3 - Bravo ビュー・デザイナ		
ファイル(日) 編集(日	) ページ(P) オブジェクト(D) ツーノ	ル(12) テスト(17) 表示(2) ヘルナ(12)	
0 🖻 🖬 🐰	BRXDONSA	◎ ● * ↓ ① ト # # ◇ / ◇ □ ☆ □ ○ ⊃ ▷ T ፼(	3 😼 🛛
· · ·	• MS P明朝 12Pt	• 【本書】臣兼司所張即四封局形況	
- 1-9	×	×	L L L L
<ul> <li>Ø Brove_demo_W</li> <li>□ □ 1: ページ</li> <li>□ □ 2: ページ</li> <li>□ 1: ページ</li> <li>□ 1: ページ</li> </ul>	vo3 グジェクト[イベントビュー]		
=70/174		x 8	
1は張オブジェクト[イイ	ONE-1		
(位置(X)	8	1.イベントビュー	
位置(Y)	8		- 1 -
表示更新開稿(秒)	2 1		
表示オプション	無効		
モジュール	イベントビュー		
オプション			
動作	ビュー実行時に起動、中町時に終了		
	Λ		
選択モード		ページ	
288+	 □」たエジューリの「プ		
- 送加	べしにモシュールの・ノ		

・1、イベントビュー:

a <u>モシュール</u>:作成するモジュールの選択 / 変更をします。

ここでは、表示枠の作成時に、それぞれ選択されているので、設定の必要はありません。

モジュール	イベントビュー	*
	イベントビュー データロダングビュー	
	WebE1-	── ●をクリックし、選択します。

b. オプション: では、作成するモジュールの "表示オプション"または "設定ファイル"の選択をします。

*オプション*の … をクリックすると、「モジュールのオプション」ダイアログボックス が開きます。<sup>設定…</sup> をクリックし、「オプションの設定」ダイアログボックスを開きます。

モジュールのオブション 🛛 🔀	
オプション文字列:	
設定	」ここをクリックします。 ¬
オプション文字列は、オプションの設定をすることにより Bravoが自動的に設定します。	
OK (*ャンセル)	オプションの設定後、表示されます。

"表示オプション"、「メニューを表示する」に▼マークを入れると、ウインドウにメニューバーが 表示されます。メニューを表示させると、設定ファイルを、「ビューの画面上」で、開くことができ ます。または、"標準モード"の設定ファイル名に入力します。

ここでは、「Bravo で作画する」で、作成したイベント設定ファイル "demo\_EV1" を開きます。"標準モード"で設定ファイルを選択する場合は、 <sup>参照</sup> から、 "demo\_EV1"ファイルを選択します。

オブションの設定	
動作モード ④ 標準モード	
設定ファイル名: 参照	ここをクリックします。
OUE-HE-H 地球光ブドレス:	
設定ファイル名:	リモートモードの設定は、
核株元のホームフィレクトリにある88年ファイルです。 ディレクトリの推定は不要です。 更新階層:ね	「拡張接続編」を参照ください。
ま示 □タイトルバーを表示する マメニューを表示する □サールバー(実行/中部)を表示する □サールバー(グルーフ)を表示する □サールバー(グルーフ)を表示する □サールバー(グルーフ)を表示する ○サールバー(グルーフ)を表示する ○サールバー(グルーフ)を表示する	
ここに V を入れます。「ビュー」のイベント画面に" "ファイル"をクリックし、設定ファイルを開きます。	メニュー " が表示されます。
7rイル(1) グループ(2) マスク(2) 印刷(2) 表示(2) ヘルプ(2) イベント日時 イベント 状態 発生日 9.12 16:31 〈軍行〉 〈開始〉 9.12 16	時 復帰日時 131
<b>K</b>	3

最後に、 ● ○ × ● をクリックすると、「モジュールのオプション」ダイアログボックス に戻ります。指定したオプションの文字列が入力されています。ここで、 ● ○ × ● を クリックし、決定します。

モジュールのオプション	×
オプション文字列:	
"" /wo=0002	設定
オプション文字列は、オプションの設定をすることにより Bravoが自動的に設定します。	
ОК	キャンセル



2、トレンドグラフ/3、データシート:

 a. モシュール
 c. 動作
 の設定手順は、"イベントビュー"同様です。
 b. オブジョン
 も、"表示オプション"または、"設定ファイル("demo\_DL"を 読み込みます。)"の設定手順は、イベントビュー"同様ですが、表示オプションは、 タイトルバーのみですので、"設定ファイル"の読み込みは、ここで行います。
 "データロギングビュー"では、"表示ページ"で、トレンドグラフと

データシートのどちらかを選択します。

オブションの設定 🔀	◉をクリックし、選択します。
動作モード	設定ファイルに、複数のトレン
<ul> <li>●標準モード</li> </ul>	ドグラフキたけデータシート
設定ファイル名: 参照	F9992667-992-F
OVE-FE-K	が作成されている場合、その中
撤防先アドレス:	のトレンドグラフ, またはデ
部定ファイル名に	タシートの任意の1ページ
後代元のホームフィックオーにおいます。 ディレクロの地定は不要です。	
更新翻稿: 30 秒 (10~86400)	✓ が表示できます。表示させるペ
10秒~24時間の範囲で指定します	ージ番号を入力します。ページ
表示ページ	来只は ガニコ またけシー
拡張オブジェクトで表示できる画面は1ページに限定されます 次に表示させるページを指定してください	留ちは、クラフ, またはシー
●トレンドグラフ 表示ページ番号: 1	☐ トが作成された順に自動的に
○テータシート 表示ページ番号: 1	1から割付られています。
【※】上記ページ番号(ボデータロガービューデザイナー)で	
レクラントやシートを通知作成した財産で、1からの指定になります また。指定したページが存在しない場合自動的に最初のページが表示されます	ここに図を入れます。「ビューの
委示	~ ────────────────────────────────────
図版イドルの「一枚表示する」	
OK 年ッンセル	はデータシートにタイトルバーが
	表示され、「ビューの画面上」でウ
	インドウの移動が出来ます。

2、Webビュー:

a . モジュール b . オブション c . 動作 の設定手順は、 "イベントビュー"同様です。設定ファイルは、「Bravo で作画する バージョン 2 」の 「Webビュー」で作成した、"demo\_Web"を読み込みます。 "demo\_Web"では、#0.b==1(Bravo内部デバイス)が成立時、http://www.g-ita.co.jp/ndの Webページに、移動するように設定されています。(「Webページ」参照) ビューに、「Webページ切替」スイッチを作成し、スイッチ操作によりWebページの切替が 出来るように、スイッチの対象デバイスを、#0.b==1(Bravo内部デバイス)に設定します。

\*スイッチの作成:「Bravo で作画する」:"モニタリング画面を作成する方法1 "を参照してください。

オブションの設定	
設定ファイル名: オブション タイトルバーを表示する マンニューを表示する ロッールバーを表示する ロバテークスバーを表示する	\$2
	OK         キャンセル

1 作成した「ビューデザイナー」のデータを保存します。
 \*データの保存:「Bravoで作画する」:"モニタリング画面を作成する方法1"を参照してください。

### 3. 拡張オブジェクトの表示。(ビュー)

ビューを起動し、作成したファイルを開き、"実行"します。 ビュー起動時は、「ページ1」が表示されていますので、"ページ切替"で、 「ページ2」に切替ます。

\*ビューの起動:「Bravoで作画する」:"モニタリング画面を作成する方法2"を参照してください。



#### 「拡張オブジェクト」画面を表示します。

2013 Bravo demo VWD3 - Bravo E1 ファ(ル中) ページ(*) 表示(*) へいざ(*)  ●R.m.   2 ページ マ	
イベント日時 イベント 状態 発生日時 復帰日期 19.812:58 《単行》 《南始》9.812:58	遠隔監視ソリューション
1. イベントビュー	4. Web ビュー
	Not Prostration.
きましていた。	
	檀1レベルは 檀2レベル州
<u>∃</u> 60_ <u>∃</u> 60_	12:43:20 0 0
	12:43:25 0 0
	12:43:30 0 0
-20 ~ 2. FV9F997	12:43:40 3.データシート
	12:43:45 0 0
-60	12:43:50 0 0
-100 -100	12:43:55 0 0
12:42:05 12:42:55 12:43:45	12:44:00 0 0
	Webページ切替
A してき来デオがごため ちゃちがして(たない)	4-5 RIM

<ページ切替をスイッチ操作でする場合>

「ビューデザイナー」のプロパティ"アクティブなページ切替"で、デバイスまたはタグの指定をします。

プロパティー		
ACKER A		
77イル名		
・実行オプション		
・ウインドウ		
キャプション表示	する	
キャプションテキスト指行	しない	
キャプションテキスト	2011 W199	
ボーダースタイル	サイズ変更择	
ウインドウ移動	有効	
最小化带外表示	する	
最大化素处/表示	する	
システムメニュー	有効	
火1-	有劾	
ツールバー [実行/中間	有効	
ツールバー [ページ選打	有効	
ステータスパー	有劲	
スクロールパー	有効	
最前面表示	無効	
ページサイズ(個)	6400	
ページサイズ(高さ)	6400	
・記動時の状態		
ウインドウスタイル	普通	
ウインドウ位置(サイズ	しない	
ウインドウ位置(X)	0	
ウインドウ位置(V)	0	
ウインドウ幅	400	デバイフ またけねがの値に とっ
ウインドウ高さ	300	テハイス、またはタグの値によう
・リモート制造	1. N. S.	て ビューを制御します ペーミ
[ウインドウのアクティブ	なし	
[ウインドウの最小化]	なし	
[ウインドウの最大化]	なし	
[ウインドウを元に戻す]	なし	の値を指定します。
(ウインドウの左位置)	なし	
[ウインドウの上位置]	なし	
[ウインドウの悟]	なし	
[ウインドウの主義]	\$L	
[アクティブなページNo	なし	
「家市理論の左回直」	なし	-
[表示座標の上位置]	なし	
【アプリケーションの終了	なし	
・その他		
キーによるページ切りを	なし	
直ちに実行	しない	

2. 描画モードで、スイッチを作画します。 \* 「B ravo で作画する」" モニタリング画面の作成 1 " 参照

3. 作画したスイッチのプロパティの設定をします。

「デバイス出力」の設定で、デバイスまたはタグ値を入力しますが、入力する値は、 "アクティブなページ切替"で指定したデバイスまたはタグ値です。 切替先のページ指定は、"ON時の書き込み"に、ページ No.を入力します。 \*「Bravoで作画する」"モニタリング画面の作成1"参照

出力デバイスと値の設定	
デバイス OFF 出力値 ON 出力値	
	" アクティブなページ切替 " で指
	定したデバイス値を入力します。
デバイス: 作成	
出力: □off時の書き込み 変更	切替先のペーシ No.を入力し
□ CN4年の書き込み	ます。
接点型のデバイスでは「売」をι、「偽」を0で指定します。 出力しない場合はチェックをはずしてください。	
OK キャンセル	

#### <ページ切替をキー操作でする場合>

### 1.「ビューデザイナー」のプロパティ"キーによるページ切替"で、

キー操作の選択をします。

プロパティーーーーー		
生北北		
77114名		
実行オブション		
·ウインドウ		
キャプション表示	<b>3</b> 3	
キャプションテキスト指行	Ltati	
キャプションテキスト	Contraction of the second s	
ボーダースタイル	サイズ変更择	
ウインドウ移動	有劲	
最小化ポタン表示	する	
最大化素处/表示	ಕನ	
92763"1"	有劲	
*1-	有劲	
ツールパー「実行/中期	有効	
ツールバー (ページ漢打	有効	
ステータスパー	有劲	
スクロールパー	有劲	
最前面表示	無劲	
ページサイズ(個)	6400	
パージサイズ(高さ)	6400	
・記動時の状態		
ウインドウスタイル	答词	キーの押下による表示ページの切り替えを行
ウインドウ位置世イズ	しない	++
万不少的地震风	0	<b>よ</b> 9。
ウインドウ位置(い)	0	
白インドウ信	400	なし
内不少的意志	300	F+-
・リモート制限リ		Ctrl + Fキー
「ウインドウのアクティブ	tal.	Ctrl + 10キー
1つインドウの最小化1	tt	
(ウインドウの最大化)	なし	の中から選択し、操作するキーを指定します
Pウインドウを元い戻す	なし	
(ウインドウの左位置)	なし	F キーの場合は 1~12 ページ、10 キーの場合
「ウインドウの上位置」	なし	
「ウインドウの福」	なし	1~10 ページの間で(1=1 ページ 0=10 ペー
「ウインドウの高さ」	なし	
「アクティブなべージNo	tal	ページの切り替えが可能です。
(表示座標曲左位置)	なし	
[表示座標の上位署]	なし	
「アプリケーションの珍っ	なし	
- Z Dille		
キーによるページ切りを	なし	
道方に実行	1.72()	

### Bravo!Exce|アドイン デバイス/タグ値の取得方法

Bravo! Excel アドイン (CTA\_XLA)は、Bravo が稼動するパソコン上から、 使用されているタグ値の取得を行うための Excel アドインです。

\* タグ設定は、「Bravo で作画する」: "デバイスの設定方法 (タグ設定)"を参照してください。

#### <動作環境>

Windows(Windows98SE 以降、NT SP4 以降、2000、XP) Internet Explorer5.0 以上インストール済み Excel2000+SP3 以降または Excel2002(OfficeXP)

- <インストール / アンインストール> 「インストール」
  - **1**. Excel をインストールし、アドインを組み込める環境(Windows の system32 フォルダの 中に Bravo の各種"DLL(CTA\_DAC.dll · CTA\_DAS.dll · CTA\_DEV.dll · CTA\_DLR.dll)" が存在している事)を整えてください。
  - 2. Excelを起動し、 ツール① の アドインローで「アドイン」ダイアログボックスを表示します。



3. <u>参照包.</u> をクリックし、Bravo のインストール先フォルダから、 "CTA\_XLA.xla"ファイルを選択します。

「アドイン」のリストに、"Bravo!Excel アドイン"が追加されます。



「アンインストール」

1. Excel を起動し、 <sup>ツール①</sup> の <sup>アドインQ</sup> で「アドイン」ダイアログボックスを 表示します。



2.「アドイン」リストに表示されている"Bravo!Excel アドイン"の、 ☑をはずしてください。



- 3.インストールした"CTA\_XLA.xla"ファイルおよび、"CTA\_XLA.ini"ファイル を削除します。"CTA\_XLA.log"というログファイルが残っている場合は、削除して下さい。
- 4. ツール① の アドインダー で「アドイン」ダイアログボックスを表示します。



5.「アドイン」リストに表示されている"Bravo!Excel アドイン"の してください。すると、アドインは削除済みなので、「リストから削除して よいか」という旨のメッセージボックスが表示されます。「はい」をクリックし、 Excel のアドイン登録情報から"Bravo!Excel アドイン"を削除します。 アンインストールの完了です。



### 「Bravo!Excel アドイン」で、Bravo 内の、次のタグの値を取得する場合。

(副) ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 挿入(P) 書式(Q) ツール(D) データ(D)	ウインドウ(型) ヘルフ
D 🚔 🖬 🗿 🚯 🍯 🐧 🖤 🐇 🖻 🛍 - 🝼 10 - 02 - 🍓 🗴	: - 21 Z1 🛍 🚯
MS Pゴシック ・11 ・ B / U 三三三国 野 % ,	168 :98 信用 🗐
B1 <b>▼</b> <i>fs</i>	and a second
A B C D E	F G
1 10	
2 20	
3	
4	
5	2
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13 Bravo!	▼ ×
14 ▶ 今ずで更新 ③ 実行開始 入オプション ダ 式設定 ダー括設定 ×	式クリア 音 Bravo!

<使用するタグを、下記のように、設定したものとして進めます。>

- ・"A1"セルに、槽1レベル:D100(Bravoが割付けたタグ No.)
- ・"A2"セルに、槽2レベル:D101(Bravoが割付けたタグNo.)
- ・データは、10秒毎に更新します。

# 1.Bravoのデバイスサーバが動作していることを確認します。 動作していない場合は、デバイスサーバを起動し、サービス(実行中) を開始してください。

\* デバイスサーバの起動手順は、「Bravo で作画する」: "PLC との通信方法 (デバイスサーバ)"を 参照してください。

M Bravo_TEST - Bravo MELSEC-A-C	
ファイル(E) 通信(P) 設定(E) 表示(V) ヘルプ(H)	
	実行中
通信機器: MELSEO-A-C、シリアル通信(伝送制御手順:形式4) デバイス仕損はメニュー(設定)通信機器の違訳)でMELSEO-A-C の議員 ロマンド説明が和してください 通信デバイス一覧:	ミダイヤログを表示させて「デバイス
現在の状態 実行中 最後に発生したエラー内容 なし	
<	
ヘルブを表示するには F1 キーを押してください。	CAP NUM

### 2. Excelを起動し、指定セルに、関数とタグ名を入力します。

D I	<b>ぶ 日</b> 品 『	8 8 8. • 11 •	∜ % B≥   B / U	8-≪ ∽ ≡≡≡	· a · (	🛃 Σ - 24 ;	科 🛍 🐱	
	A1	-	ßr					
	A	В	C	D	E	F	G	
1								
2								
3						-		
4		2		-				
6						_		
7		5				' Brav	゚゚ヮ」ツールノ	(°
8								
9								
10	-							
11		-		_				
12	-					V		
13	Bravo!	. O me		dat an anno			¥ X	
15	• 999 P.#	1 ③ 実行開	1988 /ペオブション	ア大統定	》一 法就定	X ROUP !	D' Bravol	
16								
このとき、「Bravo」のツールバーが表示されていない場合は、								

a. セルに、直接入力する場合。

"A1"セルをダブルクリックし(セル入力状態)次のように入力します。
 =DevCalc("<u>D100</u>") "A2"セルも、同様でタグ名を"D101"にします。
 関数 デバイス(タグ名)

入力が出来たら、リターンキーを押し、入力内容を確定します。

# b. セルに、 ジェ を使って入力する場合。

"A1"セルを選択し、 ジェ設定 をクリックします。タグ名を入力します。

Bravo! Excelアドイン - 式読定	ここに、タグ名を入力します。
D100	ox をクリックすると、
「コメントを設定する	"A1"セルに「=DevCalc("D100")」
OK キャンセル	と入力されます。

\* 他に、指定された式を元に、複数のセルヘー括設定することもできます。
 例えば下図のように "B1~B8"セルに、一括設定を設定する場合。
 仮に、取得するタグ名を、B1:D110~B8:D118とします。

🛛 м	icrosoft Exc	el - Booki					
9	ファイルモ 編	集(E) 表示	11 11 11 11	書式(2) ウ	ノールの デー	タロシ ウインド	DOW AND
0	🖉 🖬 🔒 🕏	AGA	🌮 🐰 🖻	B - 1 -	5 + CH + 🛛	δ E - 24	XI 🛍 🚯
MS	Pゴシック	- 11 -	в / Ц	===	图 9 %	, *.0 .00 0.4 00. e	佳佳
	A4	-	fix				
1	A	В	С	D	E	F	G
1	10	30					
2	20	40					
3	1. A	50					
4		60					
5		70	-				
6		80					
7		90					
8		100					
9							
10				1			
11				L			
12							
13	(manual states)			1	-		and the second se
14	Bravo!	-					▼ ×
15	▶ 今ず、更親	所 ③ 実行開	胎入オプショ	シジ式設定	ジー括款定	★ 式勿ア ≧	Bravo!
16				1			

"B1"セルを選択します。

ジー括設定 をクリックし、「一括設定」のダイアログボックスの、

"選択したセルから順に反映"、で設定します。

	1." 式 "に B1 のタグ" D110 "を入力
Bravo! Excelアドイン - 一括読定	します。
説明:設定された式を元に一括設定をします。右端の数字部分が ステップリマロ増えます	
B違沢した範囲に自動反映は違抗された範囲に一括設定します。 「読書きを選ぶと、まず列方向に反映された後、次行に移動します。 「読書きを選ぶと、まず行方向に反映された後、次列に移動します。 「違択したセルから順に反映]は違択したセルから指定方向に超数1分、 一括設定します。ただし、EXOELの最終行または、最終列に通した時点 で、反映処理は、終了します	2 ." ステップ "に" 1 "を入力します。
र:         D110           २.7.9.7:         1	3. ダ をクリックします。
「コシントを設定する」	B1 セルから B8 セルまで設定する
<ul> <li>C 選択した範囲に自動反映</li> <li>方向: 6 積害さ</li> <li>C 縦害さ</li> </ul>	ので、"方向"は、"行方向"の
◎ 選択したセルから順に反映	を入力します。
方向: @ 行方向 C 列方向 個数: 8	4 最後に OK をクリック
OK TEL	すると、"B1"セルから"B8"セ
	ルまで、「=DevCalc("D110")」~
	「=DevCalc("D118")」が設定され
	ます。

M N	icrosoft Exc	el - DEMO						
9	ファイル(日) 編約	果(E) 表示(	1月11日 1月11日	書式(0)	ソールの デー	-タロシ ウイン	1000 1117	
	iii 🖬 🔒 🕏	a sa:	7 X B	🛍 • 🛷 🔹	0 + Ci +	🍓 E - 💱	74 🛍 🚯	
MS	Pゴシック	- 11 -	в / Ц		图 19 %	6 , 16 .	8 律律 8	
	B4	-	/w =Dev0	alc("D113"	)		and intermination that	
1	A	В	С	D	E	E	G	
1	10	30			-			
2	20	40						✓ "B4"セルの式は、
3		50						
4								「=DevCalc("D113")」と設定されて
5		70						
6		80			-			います。
7		90						
8		100						
9					-			
10				1				
11								
12	Bravo!						- ×	
13	> 会讨心证明	(3) ±1588	6 みオデル	いがず記載	《二任论法	× :0407	No Braud	
14	191904	Con see allowing	a / 00//2	- FIGNE	* 10400		anaver	
15					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			

# 3.Bravoと通信を行い、現在のデータをセルに表示します。

📧 M	icrosoft Exc	el – Book	1				
8	ファイル(E) 編	集(E) 表示	₩ 挿入Φ	書式(0) ご	ッール(T) デー	タ(回) ウインド	らし へん
	iiii 🖬 📾 🐔	a sa	🌱 🔏 🖻	B- 🗸 🔹	n - 01 - 1	<b>δ</b> Σ - <b>δ</b> ↓	24 🛍 🎝
MS	Pゴシック	- 11 -	BIU		· · · · ·	, 1.8 :38	傳傳目
	B1	-	f.				of the second second second
	A	в	С	D	E	F	G
1	10						
2	20		[				
3				1			
4							
5							
6				-			
7							
8							
9							
10						-	
11					-		
12	1					-	
13	Bravo!						▼ ×
14	<ul> <li>今ずぐ更新</li> </ul>	③ 実行開	始入ガショ	シジ式設定	ジー括設定	× 式クリア ?	Bravo!
15							

#### データの更新方法

1. 定期(自動)更新処理をする場合。ここでは、10秒毎に更新します。

スオブション をクリックし、「オプション」ダイアログボックスで更新間隔(秒単位)の設定をします。

Bravo! Excelアドイ	ンのオプション		- 五が印度ナ - 小光位マンカリ
自動更新の間隔:	10	*	更新間隔を、秒単位で入力し、   OK   6   6   6   6   7
<u>_</u>	ОК	キャンセル	

③ 実行開始 をクリックすると、10 秒毎にデータが更新されます。

\*更新間隔を小さく設定すると、更新回数が多くなる為、応答が悪くなる可能性があるので、 注意してください。推奨間隔は、10秒です

Bravo! Excelアドイン				
2	[自動更新の間隔]に非常に小さな値が指定されています。 更新回数が多くなる為、応答が悪くなる可能性があります。 本当によろしいですか?			
	(X)200			

2.今すぐ更新する場合。

▶ 今<sup>すぐ更新</sup>をクリックすると、現在、開いているブック中で、

"=DevCalc"関数により、デバイス値の取得を行っているセルを検索し、 直ちに更新します。